事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		水道管路維持管理事業				②事業番号		6204	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		○ 法令		○ 条例		○ 規則		○ 要綱	
⑦実施手法		直営		○ 全部委託		○ 一部委託		補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款 B		項 1		目 2		細目 —	
⑨担当部名		上下水道部		⑩担当課名		上水道工務課		会計 水道事業会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 水道管路(施設)の機能	① 管延長	km
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
水道管路の現況把握を行うとともに、漏水箇所を調査し、発見された漏水箇所の修理を迅速に行い、これにより、漏水に起因する事故を未然に防止する。	① 対応調査件数	箇所
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
水道管路の機能保持・回復を行う。	① 対応箇所数	箇所
	計算式	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
水資源の有効利用。	政策(章) 5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	
	施策大(節) 2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします	
	施策中 3 上水道の充実	
	施策小 4 設備の更新	

【2】各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	管延長	km	180	180	180	—	—	—	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②						—	—	—	
活動指標①	対応調査件数	箇所	579	482	517	—	—	—	
活動指標②						—	—	—	—
活動指標③						—	—	—	
成果指標①	対応箇所数	箇所	579	482	517	—	—	—	
成果指標②						—	—	—	事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
成果指標③						—	—	—	
事業費	投入人員	正職員	人	1.30	1.20	0.90	—	—	
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	—	—	
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	—	—	
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	10,439	9,636	7,296	—	—	
	直接事業費	千円	53,958	52,628	59,720	—	—		
	総事業費	千円	64,397	62,264	67,016	—	—		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	—	—	—	—
	府支出金	千円	0	0	0	—	—		
	受益者負担金	千円	64,397	62,264	66,947	—	—		
	その他特定財源	千円	0	0	0	—	—		
	一般財源	千円	0	0	0	—	—		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	漏水による事故を未然に防ぐ観点から、調査を行うこととなった。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	今後も、水道管路の経年化に伴い機能低下が生じると考えられる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	漏水修理を未然に防ぐこと。また修理を行うことにより、水道管路の機能を確保できる。
②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか。市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい ウ. いえ	水道料金により行っているため。(独立採算性)
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	より効果的・効率的に対応することにより、市民のニーズに答えるものである。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	個人では、対応が困難であり、迅速な対応ができなくなり、水道管路機能に重大な影響を及ぼす恐れがある。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	迅速な対応により、未然に事故防止を行っている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	—
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	独立採算性であるため。

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	—
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	
	A	いままで通り、粛々と事業を進めていく。	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ウ	ア. 現状のまま継続 ↓ イ. 見直しのうえで継続 ↓ ウ. 終了 (___ 年まで) ↓ エ. 休止 (___ 年から) ↓ オ. 廃止 (___ 年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—